

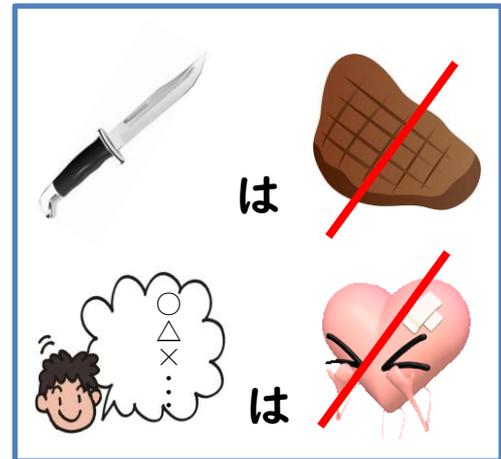
11月9日(月)全校朝会

まず初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。今月、11月はふれあい月間です。そこで今日は、「配慮」他の人のことを考えて心をくばること、心づかいをすることについてお話します。

最初にこの暗号を見てもらいます。分かりますか。

正解は、「ナイフは肉を切り、言葉は心を切る」です。

今まで、人の言葉で傷ついたことがあるという人、いますか。たくさんいるみたいですね。中には、そのときのことをいつまでもはっきり覚えているという人もいます。



では、自分の言葉で人を傷つけたことのある人は、いますか。おそらく、さっきよりは少ないのではないのでしょうか。

傷つけられた人がたくさんいるなら、傷つけた人もたくさんいると思うのですが、そうではないようです。なぜなのでしょう。これは、自分でも意識しないうちに「いつのまにか」傷つけてしまっていたということが多いということなのでしょう。だから、傷つけられたことがあると言った人は、自分を傷つけた人のことは覚えているけど、言った本人は全く覚えていないということも多いんですね。

言葉というのはナイフと同じなのです。相手の心を切って傷つけてしまうことがある。しかも、肉を切るのを無意識にやっていたということはないでしょうけど、言葉のナイフは無意識であっても切れてしまうということなんですね。怖いですね。言葉は、自分の思いを伝えるためにはとても便利なものですが、同時に怖いものでもあります。ですから、ナイフを扱うときには気を付けて慎重に扱うのと同じように、言葉を発する前にちょっとだけ、自分で「大丈夫かな」と確認する癖をつけていきたいですね。それが他人への「配慮」ということになります。

今日は、11月がふれあい月間ということで、他人への心配り、「配慮」することについての話をしました。「ナイフは肉を切り、言葉は心を切る」ということをよく覚えておいてください。お話を終わります。